

V グループホームしんあい(令和3年度事業報告)

1. 令和3年度経営方針

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業として、障がいを持つ方が住み慣れた地域において、家庭的な雰囲気の中で共同し、自立した生活を営むための支援を行う。

また、新型コロナウイルス感染症が未だ収束の兆しが見えない中、職員、利用者の感染予防対策を徹底し、事業の継続性を確保するとともに、利用者の余暇活動等のメニューを工夫し、利用者支援の充実を図る。

昨年度より計画していた高齢化・重度化に対応するための新規ホームを年度内に整備する。それに伴い、定員増を図ることで、法人内障害者支援施設からの地域移行や地域のニーズ等に対応し新規利用者の受け入れを進める。

2. 令和3年度取り組み

(1)利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 利用者のニーズに沿った個別支援計画の作成と実施 (ア) アセスメント、計画作成、モニタリングを画一的になることなく適切に実施する。</p> <p>(イ) 昨年度、記録システムの見直しを図ったので、昨年度に引き続き、アセスメントを重視し、記録システムに落とし込む作業を進める。</p> <p>(ウ) 各利用者の日中活動先への訪問を行う。</p>	<p>(ア) サービス等利用計画のモニタリング時期と個別支援計画のモニタリング時期を合わせることで、画一的にならない取り組みが実施できるようになった。</p> <p>(イ) 記録システムにアセスメントした情報を落とし込んではあるが、まだ不十分な点があるので、次年度も引き続き行うこととする。</p> <p>(ウ) コロナ禍なので積極的に訪問することはできなかったが、必要に応じて行うことができた。</p>
<p>イ 虐待防止、権利擁護に努め、利用者に寄り添った意思決定支援を行う</p> <p>(ア) 虐待防止、権利擁護に関する外部研修への参加や内部研修を実施する。</p> <p>(イ) 利用者を対象とした虐待防止、権利擁護研修を実施する。</p>	<p>(ア) 虐待防止・権利擁護の内部研修を3回実施した。</p> <p>(イ) 実施することができなかったため、次年度の実施を検討する。</p>
<p>ウ 余暇支援の充実</p> <p>(ア) ケース担当、サービス管理責任者による余暇支援に関するニーズを把握する。</p> <p>(イ) ニーズ調査・整理を行い、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、その時にできることを検討しながら個別の余暇支援や集団で行う余暇支援を計画的に設定する。</p> <p>(ウ) 移動支援事業所との連絡調整を行う。</p>	<p>(ア) アセスメント、モニタリングや日常支援を通して把握するようになった。</p> <p>(イ) 今年度も新型コロナウイルスの影響で集団での余暇支援を行うことはできなかったが、各ホーム少人数で工夫をしながら行うことはできた。</p> <p>(ウ) 随時、事業所と連絡調整を行った。</p>

(エ) クラブ活動を充実し、作品展等の成果を発表する場を設ける。	(エ) 新型コロナウイルスの影響で、計画通りには実施できなかったが、できる範囲で活動は行った。作品展については、場を設けることはできなかったが、個別に外部の作品展等に応募をし、展示された会場に鑑賞に行くことはできた。
----------------------------------	--

(2) 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 外部研修への参加</p> <p>(ア) 外部研修の内容を職員会議等で報告し、事業所全体の支援の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 強度行動障害研修に参加する。</p> <p>(ウ) 視察研修を実施する。</p>	<p>(ア) 今年度も外部研修に参加する機会は少なかったが、Web での研修を職員会議時等に受講することで、全体で研修内容を共有した。</p> <p>(イ) 2名基礎研修に参加した。</p> <p>(ウ) 1月25日に久美彩ホームの見学を行った。</p>
<p>イ 内部研修の実施</p> <p>(ア) 虐待防止、権利擁護研修を実施する。</p> <p>(イ) GSV※(グループスーパービジョン)を実施する。 ※GSV…対人援助職者(スーパーバイザー)が指導者(スーパーバイザー)から教育を受ける過程。指導者が援助者と定期的に面接を行い、継続的な訓練を通じて専門的スキルを向上させることを目的としている。</p>	<p>(ア) 3回実施。</p> <p>(イ) 予定していたが、新型コロナウイルスの影響で、行うことができなかった。</p>
<p>ウ 職員定着を図るために働きやすい職場環境を整える 新規ホームに職員事務所を併設し、更衣室も含めた職員人数に対応したスペースを確保する。</p>	<p>新規ホームえみふる内に職員事務所を併設し、更衣室も設置し、働きやすい環境を整えることができた。</p>

(3) 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 高齢化・重度化に対応する新規ホームの整備 建貸しの物件で整備をする。9月開設予定。 定員10名2階建て。</p>	<p>9月から賃貸契約を開始し、10月から開設することができた。既存のホームから10名が引越し、利用を開始した。</p>
<p>イ 消防設備点検</p> <p>(ア) 消防設備点検の業者への委託。昨年度、見積合わせの結果、点検業者を変更した。今年度も再度見積もり合わせを行い、業者を選定する。</p> <p>(イ) 消防設備の自主点検を行う。</p>	<p>(ア) エムケー防災株式会社と契約した。年間313,500円。9月に総合点検を実施、3月に機器点検を実施した。</p> <p>(イ) 担当職員が随時行った。</p>

<p>ウ 居住棟の環境整備 定期的に巡回を行い、清潔な環境の維持、設備、備品等の点検を行い、老朽化した箇所の修繕を適宜行う。</p>	<p>適宜行っている。今年度は大きな修繕は行わなかった。</p>
--	----------------------------------

(4)危機管理

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 防犯・防災対策 (ア) 消防計画を基に消火訓練、夜間想定避難訓練、通報訓練を実施する。 (イ) 夜間の防犯・防災対策として警備会社と契約し、緊急時に対応できる体制を整える。</p>	<p>(ア) 9月11日、2月23日と3月12日に実施した。 (イ) 10月からサンハイムも加えて夜勤職員が不在の6ホームについて、セコム株式会社と契約し、緊急時に対応する体制を整えている。</p>
<p>イ 安全運転管理 (ア) 年式が古い車両について、計画的に更新を検討する。その際には、リース車両を検討する。 (イ) ドライブレコーダーの映像を定期的に確認し、事故報告書やひやりはっと報告の検証を行う。</p>	<p>(ア) 1台年式が古い車両について、リース車両に更新を行った。 (イ) 年間事故件数3件。事故の際には、ドライブレコーダーの映像を本人と確認し検証を行った。</p>

(5)その他

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 地域における公益的な取り組みとしてホーム周辺の夜回り活動を行う 職員と利用者数名で各ホームの周辺地域の夜回り活動を行う。</p>	<p>年間3回行った。基本的に職員1名利用者2名程度で夜間ホーム周辺を歩いて実施することができた。</p>
<p>イ 業務の効率化を図る (ア) 新規ホーム整備、定員増に伴い勤務体制の見直しを図る。 (イ) スマートフォン等のICTを活用する。</p>	<p>(ア) 新規で非常勤職員を積極的に採用し、契約変更等を行うことで対応した。 (イ) 各ホーム用に整備したスマートフォンを活用し記録や情報共有に活用した。</p>
<p>ウ 外部に対してグループホームを理解してもらうための取り組みを行う 利用希望者向け、職員採用向けに分けてパンフレット及び紹介動画を作成する。</p>	<p>利用者向けの簡単な動画を作成し、見学者などの対応で活用した。また、職員採用向けには、記録システムのケアコラボを活用している。</p>

■ グループホームしんあい(令和3年度事業報告 資料)

令和4年3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	全9ホーム		
	男	女	計
区分6	7	1	8
区分5	8	4	12
区分4	6	4	10
区分3	9	1	10
区分2	6	0	6
区分1	0	0	0
非該当	0	0	0
合計	36	10	46

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未 満	20歳以 上～30 歳未満	30歳以 上～40 歳未満	40歳以 上～50 歳未満	50歳以 上～60 歳未満	60歳以 上	平均 (歳)
		全8ホーム	男	1	2	4	5	8
女	0		0	0	1	5	4	59.1
計	1		2	4	6	13	20	54.9

(3)通院・入院状況(回)

区分	科目	精神 科	内科	外科	眼科	耳 鼻 科	皮膚 科	整形 外科	婦人 科	歯科	その 他	計
	入所		80	90	0	24	13	32	21	0	73	35
入院	件	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5
	日	0	0	0	0	0	0	35	0	0	22	57

(4)日中活動・就労状況(名)

区分 ホーム	ワークス しんあい	親愛センタ ー通所部	親 愛 南の里	法人外事 業所	一般就労	その他	計
全ホーム	16	10	3	9	8	0	46

2 事業所状況

(1) 各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
共同生活援助(4月～9月)	42	41.4	98.6
共同生活援助(10月～3月)	49	43.7	89.1